

# FMバックキャスト研修 ～気仙沼市立病院～

6期Cグループ

## 1. 研修場所

- ・気仙沼市立病院（本吉医院含む）
- ・岩井崎伝承館

## 2. 授業前の知識

私たちのグループは薬学、生命科学、医工学、医者それぞれの異なるバックグラウンドを持つメンバーで構成されていた。そのため、医学的な知識や医療現場に関する知識は大きく異なっていた。一方、地方の人口減少や少子高齢化などの問題点は共通で認識していたが、その実情に関しての理解は共通して少なかった。

## 3. 授業の目的・達成目標

人口減少、少子高齢化に直面する地域医療の現場を観察することにより、その課題を認識し、解決策の提案を行う。また、東日本大震災の影響や、それに関する気仙沼市立病院の役割や活動を学ぶ。

## 4. 授業内容

授業内容は図1に示す通りである。岩井崎伝承館では、実際に津波の被害を受けた向洋高校の見学を行った。また本吉医院では、1件のグループホームと2件の個人宅における訪問医療現場を見学した。

|       | 7月1日                                           | 7月2日                                          | 7月3日         | 7月4日                   | 7月5日            |
|-------|------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------|------------------------|-----------------|
|       | 月                                              | 火                                             | 水            | 木                      | 金               |
|       | 会議室1                                           | 会議室1                                          | 3階会議室        | 会議室1                   | 会議室1            |
| 8:30  | 移動                                             | 講義<br>病院とは<br>(菫野先生)                          |              |                        |                 |
| 9:00  | 8時15分 仙台発<br>10時38分 気仙沼<br>市まち・ひとしごと<br>交流プラザ着 |                                               | 手術室見学        | 講義<br>「臓器移植」<br>(菫野先生) |                 |
| 10:00 | 11:00 病院集合                                     | 院内見学<br>総務課<br>薬剤部 内視鏡<br>リハビリ 救急外来<br>(外科病棟) | 麻酔導入<br>手術見学 |                        | プレゼン準備          |
| 11:00 | ※オリエンテーショ<br>ン・自己紹介                            |                                               |              | 透析見学<br>11時～           |                 |
| 12:00 |                                                |                                               |              |                        |                 |
| 13:00 | 講義<br>地域医療講義<br>(星先生)                          | 講義<br>WOC<br>(小野寺さん)                          |              | 在宅医療見学※                |                 |
| 14:00 | 循環器講義<br>(尾形先生)                                | 感染管理室<br>(星さん)                                |              | 本吉医院<br>斎藤先生           | 学生発表<br>フィードバック |
| 15:00 |                                                | 地域医療連携<br>(岩渕さん)                              | 岩井崎<br>伝承館   |                        |                 |
| 16:00 | 院内見学<br>総務課<br>検査部 病理部<br>リニアック 放射線<br>部       | がん<br>(平宇先生)                                  |              |                        |                 |

図1 気仙沼市立病院バックキャスト研修スケジュール

## 5. 研究に活かせる可能性

まずは、高齢化社会において、気仙沼地域における地域医療がどのような影響を受けているのか（人口の急激な減少と、総合診療の重要性増加）を痛感した。その現場において、多くの困りごとや問題点を目撃し、今後の研究につながる可能性を見出すことができた。

具体的には、高齢者とのコミュニケーションツールや、在宅医療の可能性を広げること（透析患者への対応や在宅医療の個別化）、高齢者の通院効率化などが将来的な研究のテーマになりうると考えた。いずれも既存のシステムなどを改変したりすることで、社会に実装させていくことは十分に可能性があると考えている。

## 6. 影響を受けたこと

最も影響を受けたことは、地域医療の実情にすでにさまざまな対策が講じられているということである。本吉医院での総合診療力の向上・総合病院と地域診療所の連携・患者情報の集約化など、想像していた以上にすでに対策は講じられていた。しかし、時代はさらに高齢化が進行し、医療者自身も高齢化していくので、数年先を見据えた対応を講じていかなければならないのだと思った。

気仙沼地域で忘れては行けない点としては、東日本大震災の影響である。多くの住民を失い、さらに生活環境が変わり、人口が激減したにも関わらず、気仙沼地域の方々は力強く復興を推進していた。震災から学んだ“備え”の考え方は、防災だけではなく、医療の分野でも進んでいた。

## 7. 来年度以降の改善点

最も、印象的であったのは、本吉医院の訪問診療の見学であった。それは高齢者医療の実際（老老介護など）を直接見ることができたことと地理的な問題などを実際に感じる事ができたからである。もし可能であれば、座学・講義の時間を短くして、訪問診療の日程・時間をこれまで以上に長くしてもらえれば、より多くの症例を見学したりすることが可能になり、多くのアイデアが浮かんでくるのではないかと考えている。

## 8. 授業の限界

講義中心になると、地域医療などの実態を肌で感じる事が難しいと感じた。その点、訪問診療の実際を見学することで、一気に理解が高まり、さまざまなアイデアが浮かんできた。座学や市民病院見学だけでは、気仙沼における地域医療の理解は深まりにくいと感じた。

## 9. まとめ

気仙沼市立病院のすべての医療関係者の方のご協力のおかげで充実した地域医療実習を行うことが出来たと思っている。高度医療の現場（大学病院や都市部の総合病院）とは異なる医療の実態がそこにはあった。社会へ貢献する研究・ビジネスを今後創出できるように考え続けていきたい。